

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-528457 (P2004-528457A)

【公表日】平成 16 年 9 月 16 日 (2004.9.16)

【年通号数】公開・登録公報 2004-036

【出願番号】特願 2002-589571 (P2002-589571)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 9 B 67/22

C 0 9 B 57/00

C 0 9 B 67/04

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/00

【F I】

C 0 9 B 67/22 F

C 0 9 B 57/00 Z

C 0 9 B 67/04

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 22 日 (2005.4.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

パラ - ジメチル D P P 3 0 ~ 8 0 モル % と、パラ - ジクロロ D P P 7 0 ~ 2 0 モル % と、からなるホスト - ゲスト固溶体であって、該ホスト - ゲスト固溶体の X 線回折パターンが、パラ - ジメチル D P P 顔料の X 線回折パターンと実質的に同一である、ホスト - ゲスト固溶体。

【請求項 2】

パラ - ジメチル D P P 3 5 ~ 6 5 モル % と、パラ - ジクロロ D P P 6 5 ~ 3 5 モル % と、からなる、請求項 1 記載のホスト - ゲスト固溶体。

【請求項 3】

a) 高沸点有機溶媒中でパラ - ジメチル D P P 3 0 ~ 8 0 モル % と、パラ - ジクロロ D P P 7 0 ~ 2 0 モル % と、からなる顔料混合物の懸濁液を形成し、
b) 顔料混合物を十分な時間加熱してホスト - ゲスト固溶体を製造する、
ことを含む、請求項 1 または 2 に記載の固溶体の製造方法。

【請求項 4】

高沸点有機溶媒が、ピフェニル、パラ - 、メタ - もしくはオルト - テルフェニル、ジベンジルトルエン、 - メチル - もしくは - メチルナフタレン、1, 3 - ジオキサラン - 2 - オン、アセトフェノン、ベンゾフェノン、 - ブチロラクトン、P h e - セロソルブ、B u - セロソルブまたはそれらの混合物、あるいはジ - およびトリアリールエーテルの混合物からなる群より選択される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

a) パラ - ジメチル D P P 3 0 ~ 8 0 重量 % と、パラ - ジクロロ D P P 7 0 ~ 2 0 重量

%と、から本質的になる顔料混合物を形成し、

b) 顔料混合物を十分な時間粉碎してホスト - ゲスト固溶体を製造する、
ことを含む、請求項 1 または 2 に記載の固溶体の製造方法。

【請求項 6】

粒子のサイズを減少させるのに有効な量の粉碎用塩の存在下に混合物を粉碎する、請求
項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

粉碎用塩が水和された硫酸アルミニウムである、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

高分子量有機材料と有効な着色量の請求項 1 または 2 に記載の固溶体とを含む組成物。

【請求項 9】

高分子量有機材料を着色するための、請求項 1 または 2 に記載のホスト - ゲスト固溶体
の使用。

【請求項 10】

液体担体と着色有効量の請求項 1 または 2 に記載のホスト - ゲスト固溶体とを含む塗料
調合物。